

# 同窓會報

No. 4

発行 千葉県立千葉北高等学校同窓会幹事会  
編集 千葉県立千葉北高等学校同窓会報発行部

## 四期生のみなさんへ

—お互いの発展  
を祈って—

会長 土屋 誠

早いもので、今年もまた沈丁花の、あの甘い香りが街に漂うころがやってきました。

四期生のみなさん、御卒業して入会、ほんとうにおめでとうございます。

私達の同窓会は、誕生してから日は浅いのですが、伝統校のそれとは全く異なり、きわめて「自由」そのものです。確かに大きな事業はこれといって出来ませんが、同窓生の絆をより強いものにしようと頑張っています。

私も一期生ですので、この他母校を愛している一人ですが、高校時代の仲間が大学の仲間には代え難い「何か」があります。それは日に日に大きくなるように思い

ます。そういった「何か」を、私は同窓会を通して大切にしたいのです。

みなさんにとっても、このことは共通するのではないのでしょうか。本校同窓会は、年寄りは一人もいないはずですが、特別会員の先生もそうであると信じています。

今年度、三期生までの名簿を創刊しました。これによって我々もお互いの絆を大切に、磨いていきたいのですが、どうぞみなさんも「同期会」を盛りたてて、高校時代に共に努力した仲間関係をより発展させていたいただきたいと心から希望します。

お互いに前向きに頑張ろう。

## 第四期生卒業

## 新たに同窓会員に

第四期卒業生

長沢 恵

二期にわたっての本部役員も、無事任期が終わり、これからは同窓会の一員として、後輩達の活躍を見守ってゆく立場になりました。思えば、もし北高に入っていなかったら、又実行委員に選ばれていなかったら、おそらく生徒会なんて無縁のものであったでしょう。今となっては、何故この貴重な経験をもっと大切にできなかったのか、そのことが悔やまれてなりません。定められた仕事のみには追われていた日々、意見の不一致による活動停滞の日々、顧問との話し合いで絶望を感じていた日々、何もかもがイヤになって人まかせにしていた日々……。頭に浮かぶのは良くないことばかりのようです。先輩方から御覧になると、さぞ頼りない生徒会だったことと思います。

北高の生徒会は消極的だ、ちゃんと活動してるのか、よくこう言われます。中には「え、生徒会なんてあったの？」などと言ったり、誰が何の役員なのかさえ知らない人も多分にいるのです。こうした現状に出会うと何ともいえず悲しくなり、また腹立たしくなってくるのですよね。私たちはこれだけやっているのに何故わかってくれないのか、と。「生徒会活動の活性化」を目標に頑張ってきた二年間、結果的には無意味なもので終わってしまったような気がします。一刻も早く、生徒の関心をひくような生徒会を作りあげてほしいのです。

さて、この度私達も晴れて同窓会に仲間入りさせていただくわけですが、今のところその活動については全く知りません。願わくば、どうか活発なものでありますように。そして今まで以上によろしく御指導いただきたいと思います。最後に、私に生徒会というものを与えて下さった先輩、いろいろ御迷惑をおかけした諸先輩方、そして苦楽を共にした同期の皆さんありがとうございました。

同窓会も活動をはじめてはや四年目に入ろうとしています。

第一期に卒業された会員の方などはもう高校時代のことなど忘れた、などという方も少なくないかと思えます。

今回より「千葉北高校と私」と題し会員の方や当時、または今でも北高におられる先生方に当時を思い出していただきました。

## 千葉北高の印象

元千葉北高教諭

現県立市原高校教頭

安田 伉

「先生の今までの教員生活の中で、最も印象に残っていることは何ですか。」

「当時まだ新設校であった、千葉北高校に赴任しましたね。千葉北は新設校の中でも一番設備の整っていない学校で、自分たちのグラウンドすらありませんでした。それどころか校地さえなくて、最寄りの中学の庭にプレハブをたてて、そこで、授業をやったほどです。……二年目の秋にやっと学校らしい学校ができたところへ、突然私に転任命令が来たわけですが、一番困難だった頃で生徒も大変だ

ったし先生方もたび重なる引っ越しで大変だった。先生と生徒が一緒になって、無から有を造り出していたわけですよ。……私の教員生活の中では一番短い期間でしたけど、その学校のことが一番印象に残っていますね。変な話だけど、転任のあいさつをするでしょ。今まで何ともなかったはずだけど、千葉北の時ほど、こっちの胸にこたえたこともなかったし生徒も泣いてくれるんですね。今まで生徒が泣いてくれたことなんてなかったのに。」

創立当時の千葉北のことを話す先生は、とてもなつかしそうに當時を語っていました。

× × ×

あれから二校目にあたる現在の勤務校・市原高校で、出版委員会の生徒諸君のインタビューにこたえた私のことばを、記事にまともな「市高新聞」に載せてくれたのが、右の文章です。現在の私が千葉北高に寄せる愛着の一端を、この文章からお汲みとりいただければ幸いです。

こうして書いていても二回生。二回生の諸君の顔が、次々と浮かんできます。もう立派に成人した皆さんに、ふと途で逢ってもわからないかもしれないが、私の記憶の中には、高校一年生・二年生の時の姿がそのままいつまでも記憶に残ることでしょう。

千葉北高同窓会の御発展をお祈りします。

## 「六年目の北高」

現千葉北高等学校教諭

下重 恒夫

新しく同窓会員となる、第四回の卒業生諸君おめでとう。

千葉北高も開設以来六年をすぎようとしています。初年度より生徒諸君に接し、何回となく工事の音を聞きながら本校の変遷を見て来ていますと、完成された学校

で学習に部活に励む在校生がうらやましくあるとともに、過去の不便であった時代がなつかしくもあります。

この設備的に完成された校内をみわたして考えることをいくつか述べさせていただきます。ひとつは「これが北高」という良い意味でのスクールカラーがまだ育っていないということ。これは単に本校だけの現象ではなく、新しい高校のもつ課題でもありまじゅうし、長年の伝統が自然と形造っていくものなのかもしれません。次に、新設校としての姿がうすれていくと同時に生徒諸君にはすべてが「あたりまえ」のこととしてとらえられているということがあります。設備的にせよ部などにせよ何年かの歴史の上に成り立っているという意識がなくなっていくことは、先に述べた件と関連して本校発展のためにも考えさせられます。

しかしこのような課題は、同窓生が部活を指導していただくなり、よきアドヴァイスを与えていただくなりして、在校生の意識の中に生きてくるものもあると思います。今後とも事あるごとに本校の発展に協力をしていただければと思います。

## 『千葉北高校

## と私』(第一回)

# 北高は今

現在の北高は、昨年の格技館につづき、プールの造設が進められた、新しい試みとして音楽鑑賞会が行なわれるなど、設備の面でも内容の面でも充実してきました。そこで前回につづき、現在の北高について特集しました。

## プール建設

陽気も春めいてきましたが、夏に向けてプールの造設工事も着々と進んでいるようです。細かいことは、ほとんど未定で詳しいことは、まだわかりませんが完成は三月二十日頃の予定だそうです。何故、今年になってプールが造られたかという点、千葉県内、約一四〇校の高校のうち、プールが造ることができるのは毎年二校づつと決まっています、北高は敷地があり、水泳をクラブに加えるという意図もあり、県に出願したそうです。プール建設と平行して、トイレも造られています。それはグ

ランドを使い運動部が試合や、練習のとき使うためのものだそうです。

## マラソン大会

閉会式の津嶋先生の総評に「新記録は出ているのだが、下の方は人々タイムが上がってないのでレベルが上がったとは言えない。」という話がありました。確かにその通りで、順位の低い人については考えなければならぬところがあります。懸命に走ってそうなた人は、称賛すべきでしょう。しかし、苦しいから、疲れるからといって自分からタイムと体育の成績を上げている人が、多数いたようです。そのような人が特に多かったのは二年生で、それを反映してか、例年になく一年生の活躍が目立ち、クラス総合順位も、上位六位までを一年生が独占しました。なお新記録は、次のとおりです。

男子の部	鎌田 悦成	二三分	五一秒
女子の部	大崎 留美	一五分	一七秒
	藤井 雅子	一五分	四一秒
	見目みどり	一六分	〇〇秒

## 新人戦準優勝

さる二月二十二日、千葉県高校ラグビー新人大会決勝が天台スポーツセンターで行なわれ、北高は強豪東高に惜しくも敗れましたが準優勝という成績は、決して恥ずかしいものではないでしょう。決勝戦までの、対戦成績は次のとおりです。

対千葉工業	10	1	29	勝
対市川	0	1	95	勝
対市川東	4	1	24	勝
対千葉東	30	1	12	負

## 初めての音楽鑑賞会

千葉市民会館にて「第一回音楽鑑賞会が、東京混声合唱団の出演で行なわれました。二月二十二日、一時間目に数学の中間考査を行い、二時間目の授業が終ると、一旦放課。家に帰って昼食を取る者、千葉の街をブラつく者、それぞれ時間をつぶして一時三〇分、場所を学校から、市民会館に移して再び集合。一時五〇分頃、野口先生の進行で会は始まった。続いて校長先生のお話。その後、合唱団の人の進

行となった。

第一部は「世界の名曲」ということで、「ハレルヤ」。「荒城の月」など六曲を聞いた。特に「待ちぼうけ」は、山田耕作の詩が印象的だった。

第二部は、テノールの独唱。一人で、あれほどの声量が出ることには驚かされた。

十分の休けいの後、第三部。第三部では、テレビドラマでおなじみの「贈る言葉」を全員で合唱した。始めは、あまり歌う人もいなかったが、しだいに声も出るようになった。

第四部は「世界の民謡集より」と題して「カリンカ」、「チャバナカス」など六曲を聞いた。

その後、お決まりのアンコールである。アンコールでは、ユーモラスな童謡、「汽車ポッポ」を歌ってくれた。

ふだん、生の音楽とあまり接する機会のない私たちにとって今回の音楽鑑賞会は、とても有意義だったと思います。

## 県民写真展入賞

写真部の次の人は、県民写真展に入賞しました。星野恒(推薦) 真行寺健司(特選) 鈴木善幸(入選) 渋江昌宏(入選)

## 名簿創刊について

昨年十一月に、今年度の事業の一つとして、同窓会名簿を発刊いたしました。母校の開校五周年を祝って計画されたものです。予定より三ヶ月ほど遅れての発刊となり、皆様は大変ご迷惑をおかけしましたことを、お詫びいたします。同窓会活動も四年目に入ろうとしています。基盤の確立という意味においても、会員の所在の把握は重要なものであります。その為には、正確な資料を基に作成しなければ、価値が無く、資料収集に時間を掛けすぎてしまいました。それでも、まだ完全なものにはなっておりません。皆さんの協力をお願いいたします。名簿購入希望者には、名簿をお送りしています。一冊五百円です。購入を希望して、まだ届いていない方、これから購入を希望する方は、同窓会本部までご連絡下さい。名簿で誤りがあったり、編集後住所変更された方などがありましたら、お知らせ下さい。また、名簿を購入された方で、代金の振込みをまだされていない方は、早急にお問い合わせいたします。(妹尾)

## OB会発足状況

同窓会員がふえるにつれOB会の発足もしだいに数を増してきました。現在の状況は次の通りです。

- ⑦ 代表者      ① 連絡先
- ⑩ 出席状況    ④ その他

現在結成されているもの

### 山岳部

- ⑦ 佐藤明寿      (一期 三D)
- ① 平原広久      (二期 三H)
- ⑩ 顧問も入りほぼ二十人
- ⑩ 十二月第二土曜日に開く

### ソフトボール部

- 男子
- ⑦ 田中一人      (一期 三C)
- ① 鈴木よしお    (二期 三G)
- ⑩ 十五〜二十人

### 野球部

- ⑦ 泉 孝雄      (一期 三F)
- ① 益子裕一
- ⑩ 二十人

### ラグビー部

- ⑦ 岩井一之      (二期 三E)
- ⑩ 二十五人

これから結成予定中のもの

バドミントン部 女子

- ① 小林真砂子 (一期 三E)

後援会等

北斗後援会

- (出版委員会OB中心)
- ⑦ 山崎 進      (一期 三H)
- ⑩ 十人

以上の団体は役員へ連絡のあった団体です。この他の団体でこれから結成予定のある所は、同窓会本部(北高)までご連絡下さい。

## 同期会について

同窓会も四期生の卒業で千五百名近い会員となりました。

今までは、幹事会、役員会、そして八月の総会、などの活動を行なってきましたが、あまり会員同志が「ふれあい」の場をもてないというのが現状でした。

そこで各卒業年度別に「同期会」を開くことを現在検討中です。期日、場所等詳細については役員と各期の幹事とで検討し会員のみなさんにお知らせします。

## 編集後記

〓みちしるべ〓

今北斗の伝統を

これが昨年の北斗祭のテーマだそう。第一期生が北高を卒業してもう三年もたちました。そして第一期生が卒業すると入れかわりに入学してきた四期生が三月に卒業しました。この同窓会報の作業で北高をおとずれると三年生は受験で学校にこないため知らない顔ばかり。時の流れをしみじみと……そんな中で先生方だけはいかかわらず、かわりませんなあ。

同窓会員がふえていく今、各団体のOBの方もふえています。部や同好会等の活動のみちしるべの役を、そして北高の伝統をつくりあげるためのご助力をOBの方にお願したい気持ちです。

今回より「千葉北高と私」という欄を設け、諸氏に登場していただくことになりましたが、みなさんも時々高校のアルバムを開いてみてはいかがですか。

編集にご協力下さった方々、おいそがしい所どうもありがとうございます。(日根)